

子どもをそだてる

②②^{にんしん}妊娠したとき ^{そだ しえんか}こどもの育ち支援課 ☎ 0595-41-1556

^{にんしん}妊娠したら、^{しやくしょ}市役所で「^{ぼ し けんこうてちょう}母子健康手帳」をもらいます。

^{しんぱい}心配なことや^{こま}困っていることがあれば^{そうだん}相談することができます。

■^{ぼ し けんこうてちょう}母子健康手帳

^{びょういん}病院に行くときに^{も い}持って行きます。

^{にんしんちゅう かあ けんこうじょうたい う あか からだ おお}妊娠中のお母さんの健康状態や、生まれた赤ちゃんの体の大きさ、
^{びょうき よぼうせっしゅ びょうき ちゅうしゃ}どんな病気や予防接種（病気にならないための注射）をしたか、など
^かを書きます。

^{ぼ し けんこうてちょう}母子健康手帳をもらう時、^{にんぶけんしん じゅしんひょう}妊婦健診の受診票などももらいます。

^{も い} 持って行くもの	^{にんしんとどけしょ びょういん} ・妊娠届出書（病院でもらいます） ^{ざいりゅう} ・在留カード ・マイナンバーカード
------------------------	--

②③^{あか}赤ちゃんが生まれたとき ^{じゅうみんか}住民課 ☎ 0595-22-9645

^{あか う ひ か い な い しやくしょ しゅっしょうとどけ}赤ちゃんが生まれた日から14日以内に、市役所に「^だ出生届」を出します。

^{も い} 持って行くもの	^{しゅっしょうとどけ びょういん} ・出生届（病院でもらう） ^{とう かあ} ・お父さん・お母さんの ^{ざいりゅう} 在留カードとパスポート ^{ぼ し けんこうてちょう} ・母子健康手帳
------------------------	--



※^{とう かあ りょうほうがいこくじん にゅうかん い あか}お父さんとお母さんが両方外国人のときは、入管に行って赤ちゃんの
^{ざいりゅう}在留カードをもらいます。（⇒P8）

しょうがっこう はい まえ さい い か こ ほいくしょ えん ようちえん にんてい
 小学校に入る前の6歳以下の子どもは、保育所(園)や幼稚園、認定
 こども園などに通うことができます。

ほいくしょ えん 保育所(園) こうりつほいくしょ えん 公立保育所(園) しりつほいくえん と私立保育園が あります。	おや しごと びょうき ・親が仕事や病気などのとき、0歳から小学校に入 るまでの子どもが通います。遊びながらいろいろな ことを学びます。 りよう じかん げつようび きんようび ・利用できる時間(月曜日から金曜日) こうりつ (公立) 7:30~18:00 しりつ (私立) 7:00~18:00 かよ まえ とし がつ もうしこみ ・通いたいときは、前の年の10月ごろに申込をします。
ようちえん 幼稚園	さい しょうがっこう はい ・3歳から小学校に入るまでの子どもが通います。 遊びながらいろいろなことを学びます。 りよう じかん げつようび きんようび ・利用できる時間(月曜日から金曜日) 8:30~14:00 おや はたら ・親が働いているときなどに、夕方まで利用する ことができます。 かよ まえ とし がつ もうしこみ ・通いたいときは、前の年の9月ごろに申込をします。
しりつにんてい えん 私立認定こども園	ようちえん ほいくしょ えん りようほう とくちょう ・幼稚園と保育所(園)の両方の特徴があります。 かよ まえ とし がつ もうしこみ ・通いたいときは、前の年の10月ごろに申込をします。

※3歳児クラスから5歳児クラスの子どもの保育料・副食費は無料(0円)

です。教材費などは施設に問い合わせてください。



- 日本人の6歳から15歳の子どもを持つ親は、子どもを学校に通わせなければなりません。(義務教育)
- 6歳からは「小学校」、12歳から15歳までは「中学校」に通います。
- 学年は4月に始まり、次の年の3月に終わります。
- 外国人の子どもも日本の小学校や中学校に通うことができます。
(市役所で申し込みます。)
- 住んでいるところ(住所)で通う学校が決まります。

にゅうがくせつめいかい 入学説明会	が しょうがっこう ねんせい こ にゅうがく ・4月から小学校1年生になる子どもは、入学する しょうがっこう がつごろ せつめいかい 小学校で11月頃に説明会があります。 が ちゅうがっこう ねんせい こ にゅうがく ・4月から中学校1年生になる子どもは、入学する ちゅうがっこう がつ がつごろ せつめいかい 中学校で11月～1月頃に説明会があります。
かね お金	じゅぎょうりょう きょうかしょだい きゅうしょくひ むりょう えん ・授業料、教科書代、給食費は無料(0円)です。 きょうざいひ かね ・教材費はお金がかかります。 しゅうにゅう すく かね はら ひよう ・収入が少なくお金が払えないときなど、費用を えんじょ ばあい しゅうがくえんじょ 援助してもらえる場合があります。(就学援助)
にほんご べんきょう 日本語の勉強 (しよきてきおうしどう 初期適応指導 きょうしつ 教室)	にほん がっこう かよ がいこくじん はじめて日本の学校へ通うことになった外国人の じどう せいと にほんご まった はな ばあい 児童・生徒で、日本語が全く話せない場合や、ほとん わ ばあい げつかに にほんご がくしゅう ど分からない場合、3か月間日本語などの学習をする ことができます。
しんろ 進路ガイダンス	がいこくじん じどう せいと ほごしゃ どう かあ 外国人の児童・生徒と保護者(お父さんやお母さん) こうこう はい せつめいかい がつごろ に、高校に入るための説明会があります。(9月頃)

②⑥ 高等学校（高校）・大学・短期大学・専門学校

■ 高等学校（高校）

中学校を卒業した人（日本の中学校を卒業していなくても、
同じ程度の学力があると認められた人）が入学試験を受けて、
合格したら通うことができます。

夜に通う「定時制」の高校、インターネットなどを使って勉強する
「通信制」の高校もあります。

そうだん 相談するところ	けんりつ こうこう ・ 県立の高校 み え け ん き ょ う い く い い ん か い じ む き ゃ く こう こう き ょ う い く か 三重県教育委員会事務局高校教育課 ☎ 059-224-3002 し り つ こうこう ・ 私立の高校 み え け ん か ん き ょ う せ い か つ ぶ し が く か し が く は ん 三重県環境生活部私学課私学班 ☎ 059-224-2161
-----------------	--

■ 大学・短期大学・専門学校

高校を卒業した人は、大学や短期大学（短大）などに入学する
ための試験を受けることができます。

合格したら通うことができます。

行きたい学校に直接聞いてください。

②⑦そのた

■放課後児童クラブ

しょうがっこう じゅぎょう お
小 学 校 の 授 業 が 終 わ っ た あ と 、 お や は た ら こ せ わ
で き な い と き は 、 放 課 後 児 童 ク ラ ブ に こ ど も を 預 け る こ と が で き ま す 。

りようじかん 利用時間	じゅぎょう ほうかご がっこうしゅうりょうご 授 業 の あ と (放 課 後) ・ ・ ・ 学 校 終 了 後 ～ 18 : 00 ちようき やす 長 期 の お 休 み な ど ・ ・ ・ 8 : 00 ～ 18 : 00
かね お 金 りようりょう (利 用 料)	じゅぎょう ほうかご まいにちりょう ばあい 授 業 の あ と (放 課 後) 毎 日 利 用 す る 場 合 げつがく えん ひとり ・ ・ ・ 月 額 8,000 円 / 1 人 ちようき やす りよう べつ かね 長 期 の お 休 み に 利 用 す る と き は 、 別 に お 金 が か か り ま す 。
ほか そ の 他	まいねんど とうろくしんせい ひつよう 毎 年 度 、 登 録 申 請 が 必 要 で す 。
そうだん 相 談 す る と ころ	こども政策課 ☎ 0595-22-9677

■子どもの勉強 (学 習 支 援)

	がくしゅうしえんきょうしつ 学 習 支 援 教 室 「 さ さ ゆ り 」	かんじがくしゅうしえんきょうしつ 漢 字 学 習 支 援 教 室
ひ 日 に ち じかん 時 間	どようび 土 曜 日 14 : 00 ～ 16 : 00	すいようび 水 曜 日 15 : 30 ～ 16 : 30
ところ	いがし そうごうふくしかいかん かい 伊 賀 市 総 合 福 祉 会 館 2 階	いが かい ハ イ ト ピ ア 伊 賀 4 階
さんか 参 加 できる人 ひと	しょうがっこう ねんせい 小 学 校 5 年 生 か ら ちゅうがっこう 3 ねんせい 中 学 校 3 年 生	しょうがっこう ねんせい ねんせい 小 学 校 1 年 生 か ら 4 年 生
りようりょう 利 用 料	かい えん 1 回 200 円	いっかげつ えん 1 ヶ 月 200 円
そうだん 相 談 す る と ころ	ほうじん い が つたまる NPO 法 人 伊 賀 の 伝 丸 ☎ 0595-23-0912 ☎ 080-3590-7612	いが し こくさいこうりゅうきょうかい 伊 賀 市 国 際 交 流 協 会 ☎ 070-4455-4900

■その他 ほか こそだ
子 育 て の く わ し い こ と は
こ ち ら か ら み て く だ さ い ☎

伊賀流
未来応援の術

